

# ボールパーソン(BP)マニュアル

## 【1コートあたりのBP人数】

- ① 2名: 高体連のシングルの試合
  - ・各校から1名ずつで、合計2名となる。
  - ・ダブルスではBPをつけない。
- ② 3名: 国体
- ③ 6名: デビス杯・フェド杯などの国際大会

## 【BPの配置】

- ① ネットおよびコート後方の両コーナー(バックフェンス付近のサイドラインより外側)に立つ。(図2)
- ② エンドチェンジ時、ネット際のBPは審判台の方に向かって立ち、双方のプレイヤーがベンチを離れたらコート側に向き直す。(図1▲)

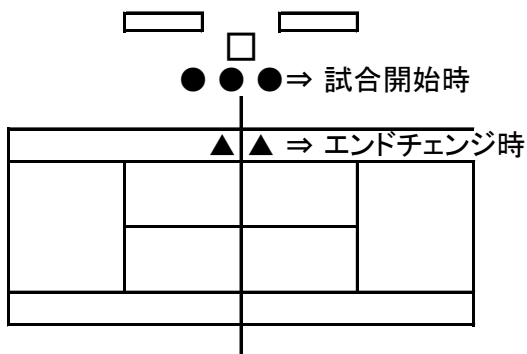


図1: 試合開始前および試合終了時の整列位置(●) およびエンドチェンジ時の立ち位置(▲)

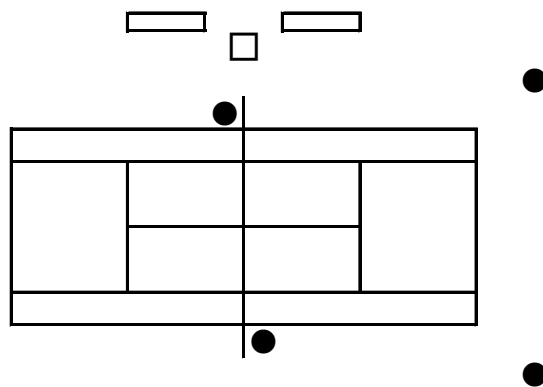


図2: ボールパーソン(●)の配置

## 【BPの基本姿勢とボールの渡し方】

- ① プレー中の姿勢は手は後ろ、足は肩幅。(図3・4)
- ② インプレー中は絶対に動かない。
  - ・担当コートのボールが隣のコートに入ってしまった場合、審判のコールがあるまでは動かない。
- ③ ボールを拾うときはダッシュで素早く拾うこと。
- ④ ボールを拾ったら、所定の位置に戻ること。
- ⑤ ボールを渡す場合は、
  - ・ボールを右手(右利きの場合)で持って、上に上げる。(図5)
  - ・左手は腰の高さで、ボールを持っているときはボールを、持っていないときは手のひらを身体の前に出す。(図6)
  - ・プレイヤーが要求するまで(ボールを受ける準備が整うまで)はボールを投げない。
  - ・投げる時はオーバーハンドで、一歩踏み込みながら投げる。(図7・8・9)
  - ・ワンバウンドで、サーバーが取りやすいボールになるように注意する。
  - ・エンドチェンジの時は、プレイヤーに直接手渡ししてもよい。
  - ・基本的にはサーバー側のBPからサーバーにボールを渡す。(BPが3人以上の場合)
- ⑥ ボールを持っていない場合は、
  - ・両方の手のひらを腰の高さで身体の前に出し、ボールを持っていないことをプレイヤーに示す。(図6)



図3



図4



図5



図6



図7



図8



図9

- ⑦ ネットのBPは、レシーバー側のBPがボールを持っていないかを常に注意する。
- ・ レシーバー側のBPがボールを持っている場合は、アウトオブプレーになったと同時に中継に入り、レシーバー側のボールをサーバー側に送る。(BPが3人以上の場合)(図10・11)
  - ・ ボールはサイドライン沿いにゴロで送る。1stサーブと2ndサーブの間には絶対に送ってはいけない。
- ⑧ レットの時はすぐにボールが必要になるので注意すること。
- ⑨ タイブレーク中はサーブの交代が早いので、ネットのBPは常に中継を意識しておくこと。(BPが3人以上の場合)
- ⑩ ウォームアップ中は、
- ・ 近くにいるプレーヤーに渡す。
  - ・ サーブやボレーでネットにかけたボールはすぐに拾う必要はない。ラリーの邪魔にならない間を見て拾うこと。

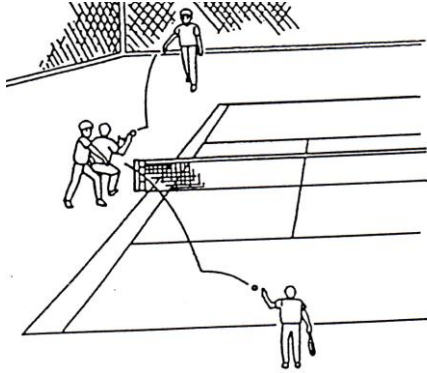


図10

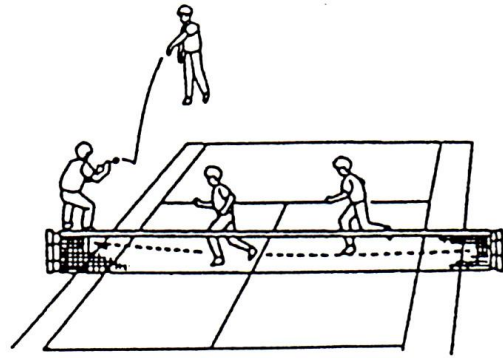


図11

### 【その他の諸注意】

- ① ボールチェンジの際にはネットのBPが使用したボールを全て集めて、新しいボールと交換する。
- ② スポンサーのついている大会では、看板やロゴの前に立たないように注意する。
- ③ プレイヤーはミスをしたばかりのボールは使いたくない場合が多いので、違うボールを渡すよう配慮する。



